



# 神埼市 議会だより



(千代田町大島地区)

大島の水かけ祭

## 11月定例会

3月定例会は3月1日開会予定です。

### 目次

補正予算の概要	2P
平成30年度一般会計補正予算「これが聞きたい!」	3~5P
常任委員会のQ&A	6~7P
決算特別委員会のQ&A	8~9P
賛否があつた議案	10P
意見書の紹介	10P
各常任委員会及び特別委員会の報告	11~12P
市民団体・グループへの募集	12P
一般質問	13~19P
議会の動き	19P
編集後記	20P

## 第48号

平成31年2月13日  
2019年

## 補正予算

## 脊振町複合施設建設事業に5億8,557万円

## 平成30年度一般会計(補正第4号)

9億3,132万5千円を追加し、  
総額165億1,268万2千円となる

## 11月定例会

平成30年11月定例会は、11月30日～12月18日までの19日間開催され、一般質問には13名が登壇し、神崎市政全般について質疑を行いました。

一般会計補正予算(第4号)では、脊振町複合施設建設事業、ふるさと寄附金基金積立金などに9億3,132万5千円を追加し、総額165億1,268万2千円となります。

## ■主な補正

主 な 事 業	補正額(千円)	事 業 の 内 容
脊振町複合施設建設事業	585,576	脊振町複合施設建設に伴う実施計画が完了することから基本計画のスケジュールに沿って、脊振町複合施設建設工事を実施する。また、建設工事に伴う工事監理・意図伝達業務により工事進捗、安全対策、工事内容の設計図書との整合性など公正な立場から施工者を指導監理する。
ふるさと寄附金基金積立金	192,999	神崎市へのふるさと納税指定寄附金を市の事業への充当財源とするため、ふるさと寄附金基金へ積み立てる。
現年発生公共土木施設災害復旧事業	27,553	平成30年7月5日から9日にかけての梅雨前線豪雨により被災した公共土木施設の復旧を行う。事業内容としては、 補助事業災害＝4箇所(道路4箇所) 単独事業災害＝3箇所(河川3箇所)

# これが聞きたい！



## 高取山公園モノライダー改修工事 3,564 千円

### (事業の目的)

モノライダーに送電しているトロリー線の経年劣化により、停止する事態が発生した。現在、運行を休止しているため、不具合箇所の交換工事を行い、公園利用者の満足度向上を図る。

**Q** モノライダーの一部の部品交換とあるが、その他の部分の故障はないのか。

**A** 現在、トロリー線の長さが400mある。その内の96mにサビが出ており、電圧が落ちる原因となっている。調査依頼した業者から不具合箇所の交換をすればいいとの回答をもらっている。



## 若者応援家賃補助事業 2,077 千円

### (事業の目的)

第2次神崎市総合計画に掲げる移住・定住対策の方針として、若者の定住促進を図り、人口の社会減を抑制し、活力維持に資することを目的とする。

**Q** 市民の方へ周知するため、具体的な説明など考慮される予定はあるのか。

**A** 分かりやすくチラシを作成し、お知らせしたいと思っている。

**Q** 補助対象者の条件として、転入後5年以上の定住が誓約できる者とあるが、転勤等により居住期間が5年未満であった場合、補助金は返還となるのか。

**A** 市内に住んでいた期間の割合に応じて返還額を決めて、返還していただく制度を構築する。





## 神埼小学校ブロック塀改修事業 3,257 千円

### (事業の目的)

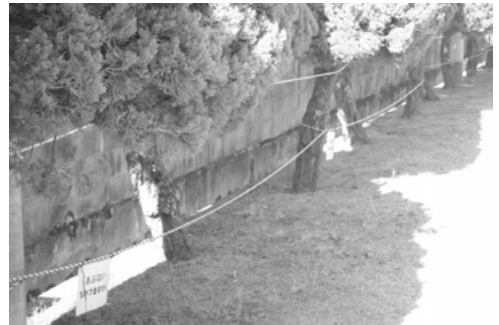
建築基準法に適合しないブロック塀が確認されたため、改修を行い安全の確保を行うものである。なお、改修に併せて、境界確認測量も行う。

**Q** 大阪北部地震後の調査結果では、建築基準法に適合しないブロック塀はないとのことだったが、その後に判明したのか。

**A** 民家のブロック塀であると認識していたが、民間業者の指摘により再調査を行った結果、神埼小学校の敷地内にあることが分かった。

**Q** ブロック塀を設置する時に境界ははっきりしていなかったのか。

**A** コンクリートが打たれたり舗装されたことで、現在、境界部分が確認できない状況になっている。今後、隣接者と確認し合い、境界を確定させ、境界杭を打ち、図面を残しておくという流れになる。



## 王仁博士キャラクターデザイン制作費 335 千円

### (事業の目的)

王仁博士の功績を讃えた顕彰公園が平成 30 年 8 月に開園したことから韓国をはじめ、アジア諸国や国内における王仁博士に繋がる人や物の交流拠点と同時に新たな観光拠点としての施設の維持管理を行う。

**Q** 王仁博士顕彰公園は神埼市の財産であるから、全国的にメジャーとなるようなキャラクターデザインを作るのにこの金額ではたしてできるのか。

**A** 効果が大きいキャラクターを作りたいが、なるべく費用を抑え、費用対効果が高まるよう努力していきたい。



## ふるさと納税推進事業 54,464 千円

### (事業の目的)

神崎市のふるさと納税の促進による財源確保と、「お礼の品」を市内事業者に求めることで地域経済の活性化を図りつつ、特産品の発掘及びPRを行うことで神崎市の魅力を全国に発信する。

Q

政府の返礼割合を3割とするようにという指示に従うことで寄附見込額を11月から来年3月までで約1億1千万円としているが、可能か。

A

11月の1ヶ月で約4,200万円の寄附があったことから、十分に目標達成はできるものと思われる。これからも達成に向けて努力していく。



## 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金 (認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業) 6,657 千円

### (事業の目的)

認知症高齢者グループホーム等の利用者等の安全性確保の観点から、老朽化に伴う大規模修繕等が必要な事業所に対し交付金を交付し、災害発生に係る高齢者等の安全安心を確保する。

Q

地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金について1事業所に実施することになっているが、現在、10年以上経過しているグループホームは市内にいくつあるのか。

A

市内の事業対象施設は6施設あるが、そのうち10年以上経過した5施設のうち申請が出されたのは1事業所のみであった。



各常任委員会のQ & A

文教厚生常任委員会

《議案第60号》(全員賛成)  
神崎市立せふり保育園の指定管理者の指定について

市民福祉部

**Q** 平成 29 年度の園児数が増えている理由は何か。

**A** その年によって入園される方の条件は違っています。平成 29 年度は 37 名となっており、要因としては脊振町在住の園児だけでなく、神崎市内や管外からの園児が増えたことです。

**Q** 保育士は何名雇用しているのか。また、雇用形態や賃金の状況はどうなっているのか。

**A** せふり保育園の保育士については、園長を含め 5 名、栄養士 1 名で、職員としては 6 名となります。雇用形態は、全て社会福祉協議会の職員です。賃金については、社会福祉協議会の中で給与体系が決まっていますので、それに従っています。



《議案第61号》(全員賛成)  
千代田町福祉センターの指定管理者の指定について

市民福祉部

**Q** 建物や設備の老朽化への対応を協議しているのか。

**A** 昭和 47 年に建築され、老朽化が進んでおり、耐震補強もされていない状況です。維持管理は、協定書の中で協議をしています。建物を今後どうするかについては、千代田庁舎に入っている九州農政局が退居後、千代田庁舎をどうするのかということとセットで、議論していく必要があると思っています。

**Q** 神崎市社会福祉協議会が行っている事業や、会計に対する監査は、どのようにしているのか。

**A** 事業に関しては、実績報告書を提出して頂いております。会計に対する監査については、監査委員会で行われています。



## 各常任委員会のQ & A

### 《議案第62号》(全員賛成)

### 脊振町高齢者生活福祉センター「そよかぜ荘」の指定管理者の指定について

#### 市民福祉部

**Q** 利用者数は、今後も同程度で推移する見込みなのか。

**A** 利用者は、脊振町以外からも利用されていて、今後も 3,000 人位で推移するものと思っています。

### 《議案第63号》(全員賛成)

### せふりふれあいセンターの指定管理者の指定について

#### 市民福祉部

**Q** そよかぜ荘とふれあいセンターの違いは、どのようなものか。

**A** そよかぜ荘は、高齢者生活福祉センターということで、居住部門と通所介護のデイサービスとなっています。ふれあいセンターについては、おたっしやいきいきクラブとして、介護保険非適用の方のデイサービスとなっています。

### 《議案第64号》(全員賛成)

### 下村湖人生家の指定管理者の指定について

#### 教育委員会

**Q** 下村湖人生家の耐震補強はできないのか。

**A** 下村湖人生家の老朽化や地震に伴う大々的な耐震補強は行っていません。耐震補強を行うには、相当な調査が必要です。復元に関しては、以前の調査の詳細な資料が残っているので、可能であります。

**Q** 各小中学校で、次郎物語や下村湖人についての学習会を行っているのか。

**A** 千代田東部小学校では、1年生から5年生の1日学習で、生家で下村湖人先生のことを学んだり、施設を見学しながら学習を行っています。千代田中学校では、総合学習会の中で、生家を訪れて学習したり、スケッチ大会を行っています。



## 決算特別委員会のQ & A

### 決算特別委員会

#### 総務企画部

Q

予算の流用については、法律上認められておりますが、ある程度予算に沿った執行を徹底していただきたいと思えます。そのような努力をされているのでしょうか。

A

予算は、議会の議決を経て定めたものですので、市民の皆様や議会から、執行部各課へ付託されたお金です。このことを肝に銘じながら、財政課から各課へ指導しているところで

Q

非常備消防費の出動費は、災害や火災、水害で出動されると思うのですが、そのことに対する団員さんへの出動手当もこの中に含まれているのでしょうか。

A

出動費については、幹部・団員全ての方に対する消防団運営交付金の中に含まれています。なお、出動日数に対する額ではなく、定額の支出となっています。

#### 市民福祉部

Q

火葬場使用料補助金について、つくし斎場やしらさぎ苑を選択できないのが、現状です。自己負担金は、つくし斎場は3万円、しらさぎ苑は3万5千円となっています。そこで、自己負担金を統一することはできないのか。

A

しらさぎ苑の火葬場使用料が7万円なので、それに合せて限度額を2分の1補助で統一しています。今、火葬場を造っていますので、それまで辛抱していただければと思います。

Q

西郷保育園の園児数が82人に対して決算額が3千万円、せふり保育園は37人に対して4千万円というのはどういうことなのでしょうか。

A

西郷保育園、仁比山保育園、ちよだ保育園の運営費を計上しています。これには臨時職員分の賃金は入っていますが、正規職員の給与は入っていません。せふり保育園は正規職員の保育士が6名おられ、指定管理者へ委託しており、その給与関係も全て含んだ金額となっていますので、金額だけ見ると高くなっている状態です。



## 決算特別委員会のQ & A

### 産業建設部

**Q** 王仁博士顕彰公園について、当初、吉野ヶ里公園に来られた観光客を王仁博士顕彰公園へ誘客すると説明を受けましたが、実際はどのような対策をしているのでしょうか。

**A** 王仁博士顕彰公園の現状については、8月5日から開園して、1日平日で50人から60人、土・日曜日には100名を超える来園者です。吉野ヶ里公園に来園されているお客様を王仁博士顕彰公園に引き込むために、吉野ヶ里公園のスタッフにも王仁博士顕彰公園の説明を充分にしており、理解もしてもらっています。チラシ、ポスターの掲示をして誘客を図っています。

**Q** 情報交流館映像作成業務委託について、詳しく説明をお願いします。市民からDVDの貸出希望があった場合はどう対応するのですか。

**A** 情報交流館用映像作成業務について、情報交流館に70インチの大型テレビを設置。王仁博士とはどのような人なのか、王仁博士の功績を紹介し、神崎市と王仁博士の繋がりや、王仁博士の生誕地である霊岩郡と神崎市の交流状況などを知っていただくために、王仁博士に関する紹介映像を作成しました。映像の時間については約12分間。積極的に貸し出す方向でやっていきたい。



### 教育委員会

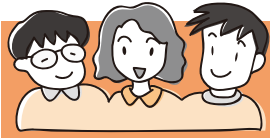
**Q** 放課後子ども教室と放課後児童クラブ事業については、どのような根拠で行われることになったのでしょうか。

**A** 放課後子ども教室の所管は文部科学省、放課後児童クラブは厚生労働省の事業です。国としては、放課後子ども総合プランという一つの連携を持った事業として推進しています。神崎市としては、放課後児童クラブと放課後子ども教室という事業を教育委員会所管で一体化できる事業として取り組んでいます。

**Q** 放課後児童クラブで宿題の指導をされているように見受けられたのですが、その辺はどうなっているのでしょうか。

**A** 放課後児童クラブで義務的に宿題を指導することはありません。ただ、子どもたちが家庭で行う宿題をクラブの中で行う時に補足的に教えるという事があります。基本的に塾など勉強する場とは違うものですから、義務付けはありません。





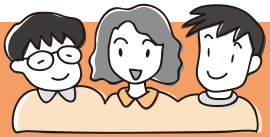
## 賛否があった議案を紹介します。

### 議案第54号 平成29年度神崎市国民健康保険事業特別会計 歳入歳出決算認定について

議案番号	議決結果	山口 義文	箕原 忍	山本 千佳	服巻 玉美	吉田 守	西原 正剛	宮地 明	中野 均	宮島 清	野口 英樹	野副 芳昭	白石 昌利	原口 ひさよ	田原 和幸	木原 憲治	松本 軍二	永沼 彰	福田 清道	佐藤 知美	片江 護	
議案第54号	賛成多数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○

#### 〈議案に対する反対討論〉 佐藤 知美 議員

国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定については、反対の立場で討論します。質疑あるいは一般質問を通じて、税率の引き上げについては抑制されているという事は充分承知の上ですが、共産党として今年度も市民アンケートを取りました。その中で示されているのは、国税が高すぎて払えないので引下げをしてほしいという声が圧倒的に多いわけです。何度、アンケートを取っても1位、2位の意見として挙がってきます。それだけ負担感があるわけです。それが全国的な実態です。ですから地方自治体として、神崎市がそのような声に応えようとするのであれば、地方自治体として力を発揮して努力をしていくべきだと思います。しかし、そのような努力を示されていません。そういうことを理由として反対します。



## 神崎市民の願いを意見書にして国に届ける

### 〈意見書第4号〉

#### 児童虐待防止対策の強化を求める意見書

近年、家庭や地域における養育力の低下、子育ての孤立化や不安、負担感の増大等により、児童虐待の相談件数は増加の一途を辿り、複雑・困難なケースも増加している。

本年3月、東京都目黒区でわずか5歳の女の子が虐待によって死亡するという痛ましい事件が発生した。増加する児童虐待を根絶するためには、市町村における充実した体制の下で連携して取り組むことが不可欠である。

子どもの生命が失われる痛ましい事件が繰り返されないよう、児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策の推進を行い、下記の事項について速やかに実施するよう強く求める。

記

1. 児童相談所全国相談ダイヤル「189」のさらなる周知を図るとともに、通報に対し緊急性や関係機関との連携を的確に行える体制の整備に努めること。
  2. 一時保護所における環境改善を早急に図るとともに、受入環境などの量的拡大を図ること。また、里親や養子縁組を推進し、家庭的養護のもとで子どもたちが安心して養育される環境を整えること。
  3. 7月20日に児童虐待防止対策等に関する関係閣僚会議で決定された緊急総合対策については、各自治体の実施状況を把握し、実施の徹底及び必要に応じて予算措置を図ること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

## 総務常任委員会視察研修委員長報告

委員長 野副 芳昭

今回の研修は、今後到来する人口減少や少子高齢化社会で、地域コミュニティの低下や自治体運営などの問題を研究するため、10月15日に兵庫県小野市へ行政経営について、10月16日に兵庫県赤穂市へ定住化促進事業について行政視察を行った。

小野市はかつて、播州そろばんと家庭用金物で栄え、今は先端産業の工業団地が整備されている。主体性のある自立した自治体をめざすため、基本理念を「行政も経営」とし、顧客満足度志向、成果主義、オンリーワン、後手から先手管理の

管理制度、多様な広聴の仕組み、報・連・相などが職員に浸透し、組織的展開が図られていると感じた。

赤穂市は、忠臣蔵のふるさと、塩のまちで知られ、「住むのにちょうどいい町」をキャッチフレーズに定住支援に取り組み、転入者定

住支援や住宅取得支援金として20万円の商品券を贈り、新婚世帯には賃貸住宅の一部助成や、お試し暮らし住宅事業、移住体験バスツアーの取り組みを行っていた。

それぞれ市の特徴や地理的条件を生かした取り組みを聞き、人口減少や少子高齢化への対応を学び有意義な行政視察となった。神戸市が、住みよい市として発展するよう、尚一層尽力してまいりたいと考えている。



兵庫県小野市

## 議会改革検討特別委員会の活動報告

委員長 箕原 忍

議会改革検討特別委員会設置後、9月25日と11月14日の2回、協議を行ってまいりました。12月13日に3回目の委員会を開催し、まず議員定数については、重要な事項であるため、県内10市の議員定数、報酬等の状況を確認し、引き続き様々な角度から調査・研究を行うこととし、継続協議としました。次に議会報告会については、改選前の報告会での市民からの声や課題を踏まえ、より多くの市民に参加していただき、市民の声を拝聴しやすい場とするため、継続して調査・研究していくこととしました。過去4年間で一会場、平均17人と非常に少ない出席でありました。このことの反省を含め、議会改革検討特別委員会正副委員長2名、総務常任委員会正副委員長2名、産業建設常任委員長2名、文教会正副委員長2名、厚生常任委員会正副委員長



2名、合計8名で今後の方向性等を含め、改めて調査・研究を行ってまいります。また、議会を運営していく上での課題や、見直しを必要とする事項についての意見があり、協議を行いました。委員会では、市民の負託に応えられる議会活動、議員活動の実現を目指し、今後も検討を重ねてまいります。



## 神崎市まちづくり特別委員会の経過報告

委員長 田原 和幸

12月13日に執行部出席のもと委員会を開催しました。

① 10月18日に開催された「神崎市千代田庁舎活用検討委員会」について、委員として出席した議員からの報告、続けて執行部から検討委員会で検討中の「神崎市千代田庁舎活用計画(案)」及び「平面計画図」について説明を受け、平面計画図に関し、第1期整備工事の範囲及び防犯カメラ設置等についての質疑がありました。

② 新庁舎建設事業についての説明を受け、新庁舎と国道34号との車両の出入りに関すること、国道34号の神崎中学校前交差点信号について等の意見がありました。

③ 脊振町複合施設建設事業に関する進捗状況等の

説明を受けました。

①から③について議員と執行部間で質疑がなされました。また、今後の神崎市まちづくり特別委員会の進め方について協議を行い、神崎市を魅力的な市にするために、各種団体や市民の声を聴き、まちづくりについて論議を深め、検討していくこととしました。



**募集中**

**皆様の声を  
聴かせてください!**

市議会「神崎市まちづくり特別委員会」では、幸せをつなぐ魅力的なまちづくりを目指し、論議・協議を直接交わしたいと思っています。市民団体・グループの方の想いを聴かせていただきたく、参加していただける団体（構成人数10名以上）の募集をいたします。

共に、住みたいまち神崎市をつくりましょう。  
ご応募をお待ちしております。

**神崎市まちづくり特別委員会**

委員長

田原 和幸

副委員長

山本 千佳

問い合わせ 議会事務局

TEL 44-2082

FAX 44-4988





若者定住対策では、千代田東部地区に公営住宅が必要だ

答 市内住宅事情等を考慮し検討する必要がある



野口 英樹 議員

**議員** 神崎市が行っている定住促進対策事業について、千代田東部地区や脊振町に対しては、30万円の地域加算をして、人口減少・過疎対策に取り組んでいるが、事業の成果はどうか。

**志岐総務企画部長** 人口

減少の対策の一環として、平成27年度から定住・移住を目的に定住促進住宅取得補助金制度を創設しています。この制度は、神崎市内に10年以上住んでいたただける方など、定住を図るため、一定の要件を満たした方を対象にしています。

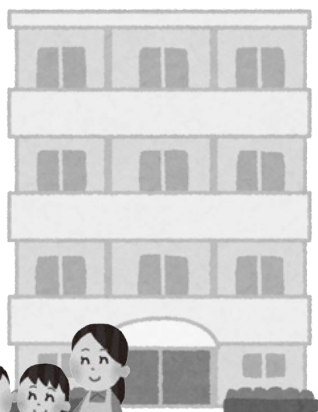
平成29年度の事業成果は、補助交付件数94件で

す。神崎町、千代田町及び脊振町毎の内訳は、神

崎町70件、千代田町24件、脊振町0件です。千代田町の申請の内訳は、東部地区4件、中部地区14件、西部地区6件です。また、市外からの転入者の申請については、42件、市内在住者の申請は52件です。

**議員** 定住促進住宅取得補助金制度は、千代田東部地区や脊振町には成果がない。さらなる定住促進の対策はないのか。

**総務企画部長** 新たな事業として、平成31年1月以降の転入転居者を対象に、平成31年4月から「若者応援家賃補助事業」を実施する予定です。この事業は、市外からの転入者や市内の実家から独立する働く若者世代を対象に、月額最大1万円最長2年間を補助します。



脊振町複合施設完成後の跡地利活用について

答 地域住民の意向に沿った利活用を定めたい



服巻 玉美 議員

**議員** 複合施設完成後は、そこに集約される脊振診療所と脊振2000年館が解体される計画となっている。この二つの跡地利活用はどのように考えているのか。

**志岐総務企画部長** 脊振

町複合施設は、脊振支所と脊振公民館の敷地内に建設することとしており、現在は支所機能を脊振公民館内に仮移転して、脊振支所の解体工事を実施している状況です。解体工事の終了後、脊振町複合施設の建設工事に着手したいと考えております。

脊振診療所の解体については、複合施設供用開

始後の平成32年11月以降

での解体工事を予定しています。解体後の跡地利活用については、アンケート調査の結果を踏まえながら、地域住民の意向に沿った形で、有効な利活用策の方針を定めていきたいと思えます。脊振2000年館につ

きましては、脊振町複合

施設の一部供用開始後の、平成32年2月以降での解体工事を予定しています。こちらも、アンケート調査の結果を踏まえながら、地域住民の意向に沿った形で、有効な利活用の方針を定めたいと考えています。



脊振診療所



脊振 2000 年館

車や大型農業機械等の財産の高台避難所について

答 造成に対しては協力、支援していきたい



田原 和幸 議員

議員 ふるさと納税額、県内の市では、今はピリ直し通達によって仕切り直したと思う。財政状況も合併時はワーストだったが、現在は県内の中位に改善している事を考えると上昇の余地はある。集まった浄財をどの様な形にしたか、納税者に報告して、精神的充足を感じてもらおう事も原点だと思ふ。

議員 災害時の避難、備蓄という公助についての考え方を問う。

議員 小規模な修繕、維持管理関係に充当させていたたく事は、形に見えるものと思いません。

議員 備蓄品についても市民の命が第一という市長の言葉を形にすべきだ。乳幼児、女性、あるいは高齢者に配慮した備蓄品も必要だ。

議員 高嶋防災危機管理課長 協議して見直し等を行う。

議員 高嶋防災危機管理課長 協議して見直し等を行う。

ロタウイルスワクチン接種費用の助成の検討を

答 子どもの安全性と国の動向に注視していく



原口ひさよ 議員

議員 子育て支援について

議員 佐賀県モデル新事業の子育てシェアエコの概要と事業の展開は。

手塚福祉事務所長 子育て

てシェアエコ事業は、県内3市2町が選定を受け、民間事業者が提供するアプリにスマートフォン等を利用し、子育ての支援を受けた人と仕事や子育て支援をしたい人をつなぎ、困ったことを解決する事業であり、現在取り組んでいるファミリー・サポートセンター事業と類似している。シェアエコ事業は、ファ

ミリー・サポートセンターの補完的業務と位置づけられ、この2つの事業を行うことで子育て世代に対して、幅広い支援ができるものと考えている。

議員 ロタウイルスワクチン接種費用の助成の検討は。

深堀市民福祉部長 ロタウイルスの予防接種は種類により2回、3回接種し、費用は1回1万円から1万5千円と保護者の精神的、経済的負担は大きいと思われる。国においては、定期接種に向けて審議されている状況の中で、接種後1週間以内に腸重積を発生するリスクが高いとの報告により、引き続き観察と研究が進められている。市としても、子どもの安全性を重視し、国の動向に十分注視していきたい。

議員 合併前からの施設、例えば、神埼町で水車、脊振町でわんぱく公園、千代田町で直島城など歴史的遺構や遺産の補修を一般財源でなく、この寄附、納税を使えないか。

議員 小規模な修繕、維持管理関係に充当させていたたく事は、形に見えるものと思いません。

議員 小規模な修繕、維持管理関係に充当させていたたく事は、形に見えるものと思いません。



佐賀空港でPR活動をする担当職員

佐賀県 子育てシェア

子育ては一人では大変。友達や近所さんと頼りあえる仕組みがあるんです！

3つのサービス(アプリ)

- ①アズママ (ママ同士の助け合い)
- ②キッズライン (ベビーシッター)
- ③エンタイムズ (家事支援)

マッチングアプリ

「子育てで困った事を頼りたい人」と「空き時間を使って支援したい(働きたい人)をつなぐスマホのマッチングアプリを使ったサービスです。

佐賀県でもこのサービスが広がるよう応援しています！

子育てシェア事業のお知らせ



### 学童保育の基準緩和の対応は

答 支援員の数の確保等を取り組む



宮島 清 議員

#### 市道への交通標識設置について

議員 県道・国道並みの道幅や中央線もある市道に標識がないのはどうしてなのか。特に要望が出ている、千代田西一号線から村下団地を抜ける道路の現状の認識は。

志岐企画総務部長 交通

量が多く、スピードの出やすい道路と考えています。現在神埼警察署交通課と協議を進めており、状況調査等を行い対応策を執って行く考えです。

#### 学童保育について

議員 共働きや、ひとり親家庭等の子供達が放課

後過ごすこの支援策は、子育て世代にとって今後、絶対不可欠なものと思う。現在、国において基準の緩和が検討されているが見解は。

松永社会教育課長 緩和

されることにより支援員の質の低下や学童保育の役割や機能の担保が心配されます。

議員 是非、児童の育成支援を目的に取組んで、ただ管理するだけの保育には絶対しないで欲しい。社会教育課長 基準緩和



みんなで楽しそうな学童保育

が検討中ですが、児童の安全・安心な居場所づくりを推進します。

#### 単身高齢者対策について

議員 年々増え続ける高齢者で働けるシニアの方の採用を、市の委託業務等の職種で検討すべきではないか。

市長 働ける人は働いていただきたい。仕事として携わってもらえる様な統計・調査業務等を考えて進めてみたいと思う。

### いじめや不登校の現状と課題・対策は

答 子ども一人一人に寄り添った支援を行うについて



野副 芳昭 議員

議員 いじめや不登校の取り組みとして、いじめの未然防止、早期発見、早期対応、不登校や問題行動を減らすため、スクールカウンセラーや

議員 いじめや不登校の

スクールソーシャルワーカーの活用や学校適応指導教室の充実等を図っているが、小中学校でいじめや不登校の現状は。家永教育部長 いじめが平成28年度20件、平成29年度31件、平成30年度（10月末時点）4件、不登校が平成28年度26人、平成29年度27人、平成30年度（同）26人である。

原因は何か。教育部長 からかいがエスカレートしたり、SNSのやりとりでいじめにつながっている。不登校は、学習上の悩みや家庭環境の問題、発達障害、人間関係の悪化、怠学傾向である。

議員 対応や対策は。教育部長 いじめ防止基本方針を策定し、周知徹底を図り、相談窓口を設置している。不登校では、家庭訪問や保護者との面談や生活支援員を配置し相談室登校を行っている。今後もこのような取り組みを継続していく。



学校適応指導教室です。ここで子どもは教育を受けています。

#### その他の質問

- ・ 社会体育施設の長寿命化の推進と施設保育数の考え方について。
- ・ 市民ニーズに対応した有効活用について。
- ・ 学校体育館の社会体育活動への対策について。

### 幼児教育無償化について

答 国の動向を注視しながら、情報収集に努める



山本 千佳 議員

に取り組めるよう国に要請を行っている。

地域おこし協力隊の募集及び集落支援員の配置について

議員 地域おこし協力隊の募集を積極的に行う必要があるのではないかと。

山田商工観光課長 啓発イベント・会議や研修会にも参加し、興味を持ってもらえるような募集に努めていきたい。

議員 集落支援員を配置することで地元の方との

繋がりが増し、地域の活性化になるのではないかと。

志岐総務企画部長 集落支援員の業務は①集落の点検②集落のあり方に関する話し合いの促進③集落の維持、活性化対策の実施があり、区長に同等な職務を担っていただいている。また地区担当職員を配置して共通認識の形成を図っている。

### 新たな森林管理システムについて

議員 森林環境贈与税が交付された場合、どのような使い道があるか。

吉田林業課長 森林所有者の意識調査、境界の確認、森林の整備、林道や作業道の維持補修、人材育成や担い手確保、また木質バイオマスの利用促進や木造公共建築物の内装木質化などの木材利用や普及啓発に関する事業がある。

### 公共下水の料金を低所得者が少なく負担できないか

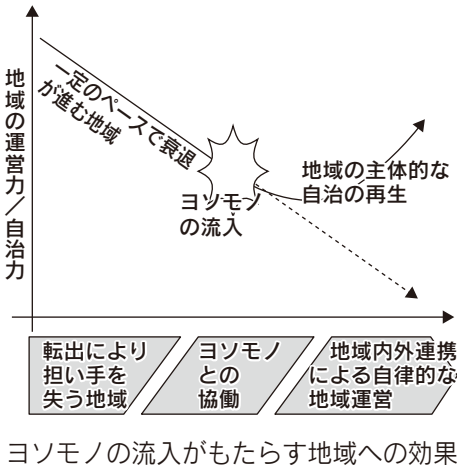
答 難しいと考えています



宮地 明 議員

議員 基本的に所得の多い人、少ない人があってもいいと思う。ただ所得の低い人が暮らしていないような神崎市であってはいかん。何とか皆さんで相談し合って、やり繰りし合って、生きていけるような方策を。みんなで支え合って暮らしていける神崎市を目指したいと思っております。市長一言お願いします。

市長 お互いに支え合いながら幸せを求めるといっていいと思う。これは議員と一緒にできるだけの負担のかからないようにと思います。累進課税で、多く所得のある人は納めて下さいと税制がなっている。しかし、もって下げて神崎市だけ特別というのはいくらの中に入らない。



ヨソモノの流入がもたらす地域への効果



公共下水道のマンホール



コンバイン等大型農業機械更新時の国庫補助の改革を

答 国は現段階では厳しい対応、しかし努力する



福田 清道 議員

皮ごと食べられるバナナの栽培について、鹿児島県への現地視察を行った。これも神崎でできるかどうかは農家の皆さん及び議会等で大いに議論をしなければならぬ。

議員 神崎市農業の活性化について質問する。市長は選挙公約の中で、地域農業の活性化として、集落営農及び担い手への支援強化、農業所得向上による後継者育成を掲げておられるが、これを実現するために具体的にどのような施策をするのか。

の現状は、米・麦・大豆等の価格低迷、しかもTPPの発効、米の所得補償の廃止等で農業経営は大変厳しくなっている。そこで、コンバイン等の大型農業機械の更新時への補助制度を農家にとつて使いやすい制度に改めるよう、市長も国に働きかけてほしい。

市長 国は現段階では厳しいが努力する。

神崎市に子育て支援の拠点が必要ではないのか

答 一つずつ近づけていく努力はしていきたい



白石 昌利 議員

代田町保健センター内に設置し、専任の保育士が遊び場の提供や子育て相談等を行っている。今後は、旧J.A会館に整備することになっていく多目的室を補完機能として利用したい。

議員 健やかな子供達、家族の強い絆、支え合う地域社会を築く為の子育て支援の拠点づくりは必要不可欠である。核家族化、少子化、共働き家庭の一般化により、子供を取り巻く家庭や地域社会が大きく変化している。子供の育ち、親の育ち、子育てに対する社会的支援の必要性が増大している。その対策と支援策を伺う。

点では必要である。答弁での形では十分ではない。児童館ガイドラインでの拠点が必要と思うがその必要性を伺う。

市長 児童館という子育て支援に関する施設があるが、そういったのは全て整ったほうがいいと思う。一つずつ近づけていく努力はしていきたい。

その他の質問

・空き家問題と耕作放棄地

市長 まずは農家の方たちが夢を持って作物生産に取り組んでもらいたい。それに対し行政が支援できるものはやっていきたい。

市としても単なる受け身だけの農政ではなく、新しい農産物の情報提供は積極的にやっていきたい。一番最近の事例では、



補助金の拡充が期待されるコンバイン

手塚福祉事務所長 子育て家庭の孤立が進む中、親子が気兼ねなく繋がりが合うことができる場が求められている。市では、子育ての支援拠点として子育て支援センターを千



神崎市における医療・介護の将来について

答 医療と介護の連携した高齢者が安心できる市



吉田 守 議員

「地域ケア会議」を構築し、医療費等の抑制と高齢者福祉のさらなる充実を図ることを基本施策の一つに掲げます。

「地域ケア会議」といった多職種及び市民の連携を図りながら、これからの神崎市の医療・介護に取り組んでいる。

**議員** 2025年「団塊世代」が後期高齢者へと移行すると共に65歳以上人口が約33%を超える時に対し、神崎市の医療・介護へどう取り組んでいくのか。

**議員** 神崎市における「地域包括ケアシステム」構築を踏まえた社会保障費増への対応策はあるのか。

**野中高齢者障がい課長** 市としての取り組みは、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業の3事業に平成28年度から取り組み、その一環として情報の共有化（カナミックシステム）、介護教室「みんなで語る

**手塚福祉事務所長** 神崎市国民健康保険事業及び後期高齢者医療保険事業の医療費共々確実に増加していきませんが、医療・介護に関わる多職種間の相互理解や情報の共有化が充分にできていない現状でしたので、介護保険法の改正を転機として神崎市郡医師会との連携を密にし、医療・介護・予防、生活支援を一体的に提供できる「地域包括ケアシ

神崎市の医療に関する数字

年度	神崎市の高齢化率	後期高齢者に係る医療費	国民健康保険に係る医療費	介護保険料(1人当たり)
H29(2017)	29.70%	55億3千万円	30億4千万円	H12年度 3,068円
H30(2018)	29.90%			5,969円
H37(2025)	33% (推定)	82億3千万円 (推定)	33億6千万円 (推定)	8,335円 (推定)

団地名	住宅数	空き部屋
井上団地	18戸	4戸
右原団地	72戸	12戸
本堀団地	48戸	1戸
東野ヶ里団地	56戸	12戸
姉団地	49戸	11戸
西小津ヶ里団地	50戸	0
下神代団地	1戸	0
計	294戸	40戸



老朽化が進んでいる市営住宅

**産業建設部長** 交通事故などで市道の施設を破損された場合、事故の原因者で復旧して頂く。原因者に対して復旧を強く指導している。

**議員** 市営住宅の整備については、新庁舎建設事業など大型事業完了予定は31年度である。そこで、既存市営住宅の建替えを含めた維持管理、改修などの検討と進捗状況及び環境対策について、どう改善策を図って来たのか。



中野 均 議員

**議員** 市営住宅整備計画の活用については、現在、住んでおられる住民のアンケート調査なり、懇談会などを行い意見を聞いて、今後の方針を決めて

**議員** 交通事故等によりガードレール、道路照明などが破損しているが、その破損状況の把握と今後の復旧工事は、どうするのか。

市営住宅と人口減少対策について、どうするのか

答 現在、神崎市版の住生活基本計画を策定している

**岸川産業建設部長** 市営住宅の空き部屋に伴う環境対策は、団地周辺の雑草や樹木の伐採、道路補修など随時対応している。現在、整備計画については、神崎市版の住生活基本計画を策定している。

頂きたいと思うが。市長 確かに議員が言われるように、効率良く進めるべきだと私も賛成する。議員ご指摘のような見直しをしっかりと進めたい。

**交通安全施設の破損箇所の復旧について、どうするのか**

少人数数学級の拡充を求める

答 特別支援員は、よその市町よりしっかりと配分してほしい



佐藤 知美 議員

しては、少人数数学級よりもチームティーチングを希望するという形になっている。

**議員** 県教委の基礎定数の算定が5段階に分けられているが、脊振など小規模校が算定にはいつていないのは何故か。

**教育部長** 小規模校については多年にわたってきめ細やかな指導がなされ、すでに効果を上げているというみなしをされている。

**議員** みやき町では町費で講師を雇用して中学校の少人数数学級を実施しているが、市として市費での雇用は考えていないか。

**教育長** 市として担任の雇用はないが特別教育支援員は他市町よりしっかりと配分している。

**その他の質問**  
・公営住宅管理標準条例(案)の改正について

**議員** 平成27年4月に義務教育諸学校の教職員定数の標準に関する法律が一部改正され、県教育委員会は来年度から全ての学級に少人数学級を導入できる方針を明らかにし、事前調査で希望校の応募をとっているが神埼市の状況は。  
**家永教育部長** 調査の対象は、1クラスの児童・生徒が36人、40人の学級で市内では神埼・西郷・仁比山・千代田西部の各小学校で、中学校では対象になる学年はない。  
**議員** 対象となる学校は4校あるのに1校しか希望していない理由は。  
**教育部長** 学校の希望と



小学生の授業風景

《議会の動き》 (H30年10月～12月)

- 10月4日 文教厚生常任委員会
- 6日 神崎市首都圏ふるさと会(東京都)
- 8日～14日 フランス共和国ボークール市訪問
- 12日 議会広報編集特別委員会
- 15日～16日 総務常任委員会行政視察研修(兵庫県小野市、赤穂市)
- 19日 第223回佐賀県市議会議長会(正副議長会)(武雄市)
- 22日 議会広報編集特別委員会  
議会運営委員会
- 23日 全国市議会議長会基地協議会九州・沖縄部会総会(長崎県大村市)
- 24日 第21回市町村行政講演会(佐賀市)
- 25日 九州市議会議長会理事会(嬉野市)
- 30日 議会広報編集特別委員会
- 11月5日 議会広報編集特別委員会
- 5日～7日 決算特別委員会
- 9日 決算特別委員会

- 11月12日～14日 決算特別委員会
- 14日 議会改革検討特別委員会
- 19日 産業建設常任委員会
- 20日 文教厚生常任委員会  
広島県江田島市議会より行政視察
- 21日 総務常任委員会
- 26日 防衛省情報施設振興議員連盟役員並びに総務省・防衛省への要望活動(東京都)
- 27日 議会運営委員会
- 11月30日～12月18日 平成30年11月第5回神崎市議会定例会
- 11月30日 全員協議会
- 12月5日 議会広報編集特別委員会
- 10日 議会運営委員会
- 11日 平成30年度予算特別委員会
- 12日 文教厚生常任委員会
- 13日 神崎市まちづくり特別委員会  
議会改革検討特別委員会
- 14日 議会運営委員会
- 18日 全員協議会



# 市内小学6年生の議会傍聴



小学校6年生の社会科で「わたしたちの願いを実現する政治」という単元を学習するため、市議会の議場見学と市議会の仕事についての学習をされました。

(平成24年度より開始)



## 編集後記

私は歌が好きです。特に「故郷（ふるさと）」が胸に浸みます。高野辰之さんの詩だそうです。私は大学の時から佐賀を10年程離れていました。今は、故郷神埼に戻り、故郷のための仕事をさせていただき、感謝しています。

今日、関東にいる小中高の同級生から電話がありました。故郷の山、故郷の川を想うとの話でした。この故郷をしっかりと守りたいものです。

(記 宮地 明)

- |             |       |    |       |
|-------------|-------|----|-------|
| 議会広報編集特別委員会 |       |    |       |
| 委員長         | 松本 軍二 | 委員 | 吉田 守  |
| 副委員長        | 野口 英樹 | 委員 | 服卷 玉美 |
| 委員          | 宮地 明  | 委員 | 山本 千佳 |